

第79期 報告書

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日

心 ひろがる技術

mitsuba

株式会社 ミツバ

証券コード：7280

Topics



トピックス

中期経営計画の実現に向けて

製品領域

モビリティ進化としてはICEから電動化に移行するが、当社製品は用途に合わせた既存製品の深掘りで対応可能。既存製品で収益を確保しつつ、新規製品への新たな取り組みも実行する。

●車両の製品領域ごとの成長性（将来の見立て）

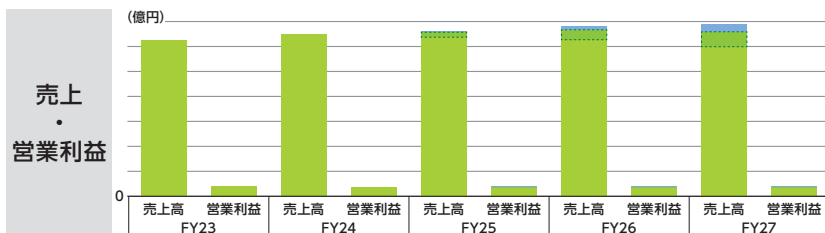
製品領域	四輪 		二輪 		
	ICE	HEV・BEV	ICE	E100	EV
“走る”	・4Rスタータ ・ETCモータ ・ファンモータBM	・ファンモータBLM ・EOP	・2Rスタータ ・ACG ・ACGスタータ ・2R燃料	・2R燃料進化	・2R_EV
“曲がる”	・EPS ・EPS(RK)	・EPS進化		—	
“止まる”	—	・ESB		—	
ボディ	視界	・FRワイパシステム ・RRワイパシステム ・ウォッシュャ	・ワイパシステム進化	・2R_LED灯体	
	利便快適	・S/R ・P/S ・P/W	・PTG ・PSD ・小型アクチ進化	—	

※ICE：内燃エンジン車 BEV：バッテリーEV E100：エタノール100%燃料車

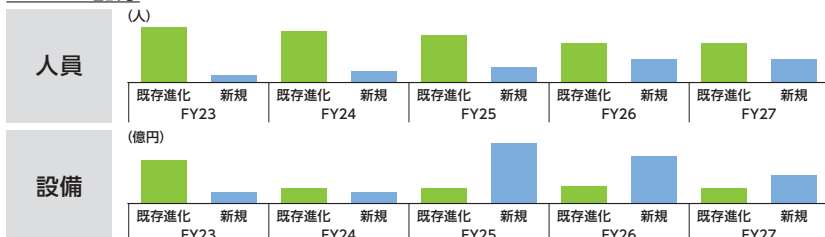
収益性とリソース配分

中期計画期間は既存製品の売上により収益を確保しつつ、既存製品の深掘りで用途・ニーズに合わせた製品開発を行う。将来に向けては新規製品へのリソース投入を実行して行く。

●売上高と営業利益、及びリソース配分の推移（イメージ）



リソース配分



既存製品

- ・電動パワーステアリング用モータはBEV車による重量増や運転アシスト機能追加等により高トルク・高応答タイプにシフト。
- ・FRワイパシステムはBEV車ではガラス傾斜が浅くなり、且つ大型化が可能なデザインとなることで、モータは小型・高トルクにシフト。
- ・利便快適製品は、空間アレンジメントの多様化により数量増、小型化・軽量化のニーズ。

新規製品

- ・ファンモータは電動化に伴い、ブラシ付からブラシレスモータへ変更。用途はラジエータからバッテリー、等の冷却用にシフト。
- ・電動ブレーキ用モータは運転アシストや緊急回避の機能追加により、小型・高出力のニーズ。
- ・二輪はICEからEV車への割合が増加しており、市場ニーズを捉えた駆動システムに対応。

株主の皆様へ

当連結会計年度における世界経済は、成長軌道を維持しているものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中東での紛争によるサプライチェーンの混乱、また世界的な金融引き締めによる景気減速懸念、円安進行などが影響を及ぼしました。国内においては、材料・エネルギー価格の高止まりと円安に伴う物価上昇があるものの、経済対策により民間投資や個人消費が拡大し、緩やかな回復基調を維持しました。

自動車業界におきましては、2023年のグローバル四輪車販売が暦年で90,079千台（前年比11.2%増）となりました。米国は、暦年で15,608千台（前年比12.3%増）と2年ぶりに前年を上回りました。欧州は半導体供給不足からの回復により、暦年で12,847千台（前年比13.6%増）と2年ぶりに前年を上回りました。中国は政策支援や販促活動の活発化などにより、暦年で30,094千台（前年比12.0%増）と3年連続で前年を上回りました。日本においては、2023年度は4,529千台（前年度比3.3%増）と2年連続で前年を上回りました。登録車は2,903千台（前年度比7.8%増）と2年連続で増加、軽自動車は1,625千台（前年度比4.0%減）と2年ぶりに減少となりました。また、グローバル二輪車販売は、最大市場であるインドが新型コロナウイルス感染症の収束などにより、暦年で17,075千台（前年比9.4%増）と3年連続で前年を上回りました。インドネシアは下期に挽回し、暦年で6,237千台（前年比19.5%増）と3年連続で前年を上回りました。日本は、原付第二種と軽二輪車の増加により、2023年度で377千台（前年度比3.9%増）と2年ぶりに前年を上回りました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、当期から新たな中期経営計画（2023年度-2027年度）をスタートし、「モビリティ進化への対応」、「経営基盤の強化」、「財務体質の健全化」を重点施策として、計画達成に向け諸施策を推進しております。

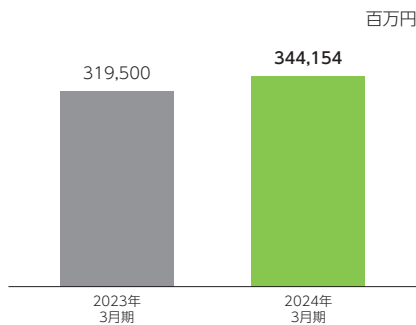
当連結会計年度の連結業績は、半導体供給の改善による自動車生産の回復を背景とした販売増に加え、為替影響もあり、連結売上高は3,441億54百万円（前期比7.7%増）、連結営業利益は211億52百万円（前期比214.8%増）、連結経常利益は223億44百万円（前期比269.4%増）といずれも前年を上回りました。また、トルコの子会社について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要件に従い、当期より会計上の調整をした結果、30億40百万円の特別損失を計上しております。一方、政策保有株式の売却益として11億47百万円などの計上があったため、税金等調整前当期純利益は185億16百万円（前期比216.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は137億41百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益11億85百万円）と前年を大きく上回りました。

取締役社長 北田 勝義

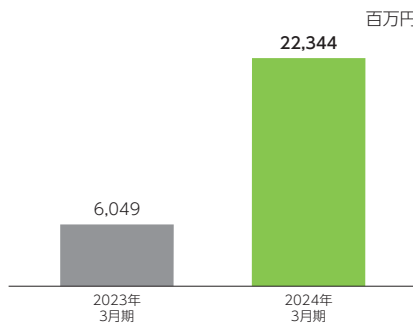


■ 連結財務ハイライト

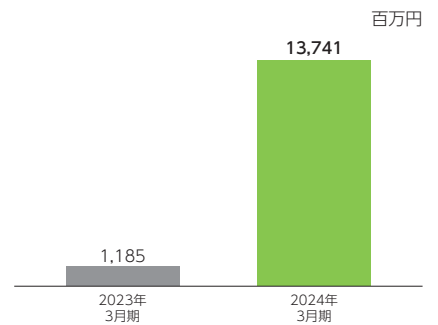
■ 売上高



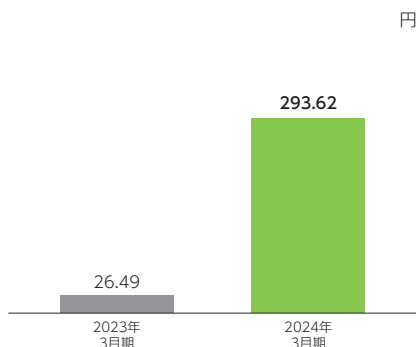
■ 経常利益



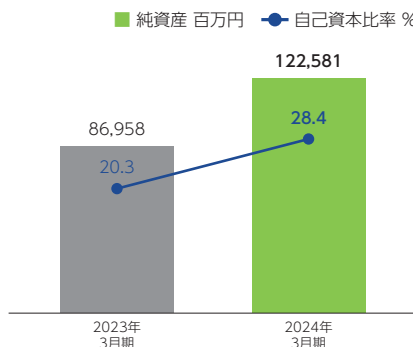
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



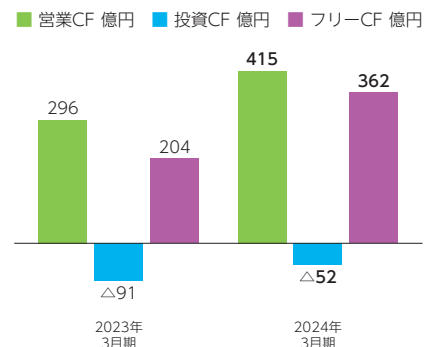
■ 1株当たり当期純利益



■ 純資産



■ キャッシュ・フロー



セグメント別業績

(単位：億円)

	2023年3月期			2024年3月期			営業利益 増減額 (A-B)	営業利益 増減率 (A/B)
	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	2,987	45	1.5%	3,227	186	5.8%	140	4.1倍
情報サービス事業	151	17	11.6%	162	18	11.3%	0	104.2%
その他事業	55	3	6.8%	52	6	13.4%	3	184.9%
調整額	-	0	-	-	0	-	△0	-
合計	3,195	67	2.1%	3,441	211	6.1%	144	-

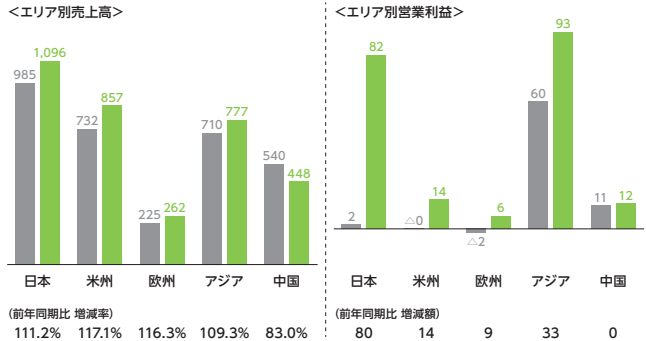
輸送用機器関連事業	・四輪事業…日本エリア・米州エリアにて販売台数が大幅に回復 中国エリアでは日系自動車メーカーの販売が低迷 ・二輪事業…アジアエリアにて販売が好調に推移
情報サービス事業	・自治体・警察・ガス事業者向けのシステム販売や、ソフトウェア開発 支援業務などが堅調に推移したことから増収・増益

エリア別業績

日本・米州・欧州エリアは、自動車生産台数の回復、為替影響、価格改善の推進、固定費の抑制により増収・増益。アジアエリアは、販売好調を維持。中国エリアは、日系自動車メーカーの販売低迷により減収となるも、材料費・固定費抑制等により営業利益はほぼ横ばい。

■2023年3月期 ■2024年3月期

(単位：億円)



次期見通しのポイント

世界経済の今後の見通しにつきましては、成長率の減速懸念とインフレの高止まりは続くものの、回復基調を維持するものと考えられます。一方で自動車業界におきましては、電動化加速への対応の他に、新たな課題として原材料価格高騰によるコスト増への対応や半導体不足リスクへの対策が求められております。また、当社グループにおきましては、新たな中期経営計画で掲げております「徹底的な構造改革と新ミツバへの布石」の下、財務体質の健全化を進めてまいります。このような状況の中、2025年3月期(2024年4月1日~2025年3月31日)の通期連結業績予想につきましては、連結売上3,450億円(前期比0.2%増)、連結営業利益180億円(前期比14.9%減)、連結経常利益160億円(前期比28.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円(前期比27.2%減)を見込んでおります。

株主ご優待について

本年度も、当社では皆様のご厚情に感謝を込めまして、株主ご優待制度を実施いたします。対象の株主様には6月上旬にお申込み案内を送付させていただいておりますので、以下よりご選択いただきお申込みください。

①群馬県産商品(乾麺詰め合わせセット)

②商品と同額を寄付(日本赤十字社への寄付(地域を指定しない海外救援金))

優待品のお届け時期 6月28日(金)までにお申込みの方……7月中旬頃のお届け

7月31日(水)までにお申込みの方……8月下旬頃のお届け

※やむをえず発送時期が遅れる可能性もございます。あらかじめご了承ください。

株式に関するお手続き

証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関する届出・お問い合わせ	口座を開設されている証券会社
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などのご変更 マイナンバーに関する届出・お問い合わせ 特別口座から証券口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人